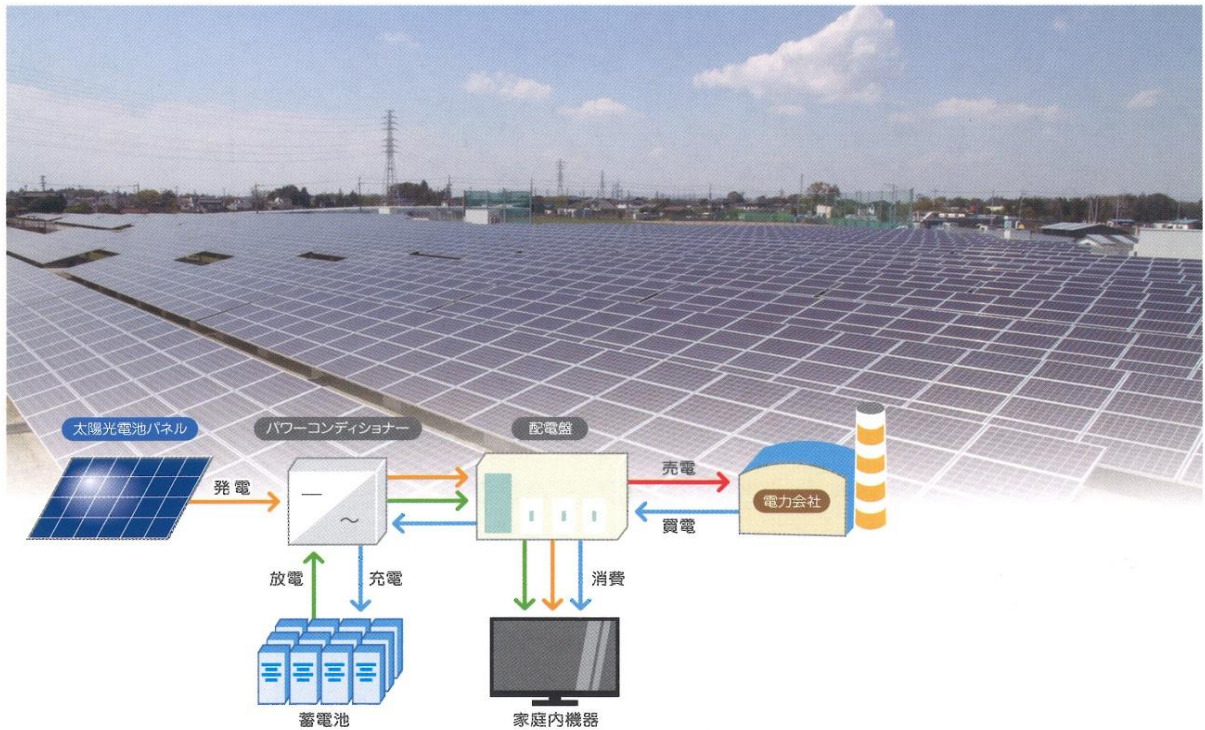


環境活動レポート

(対象期間：2016年3月1日～2017年2月28日)



営業活動で力を入れている 蓄電池付き太陽光発電システム

宮澤電池産業株式会社

作成日： 2017年5月31日

目次

1. 組織の概要	・・・	P 1
2. 実施体制	・・・	P 2
3. 環境方針	・・・	P 3
4. 環境目標	・・・	P 4
5. 環境活動計画と評価及び次年度の取り組み内容	・・・	P 5
6. 環境目標の実績	・・・	P 6
7. 当社の取り組み	・・・	P 8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・・・	P 9
9. 代表者による全体評価と見直し結果	・・・	P 10

1 組織の概要

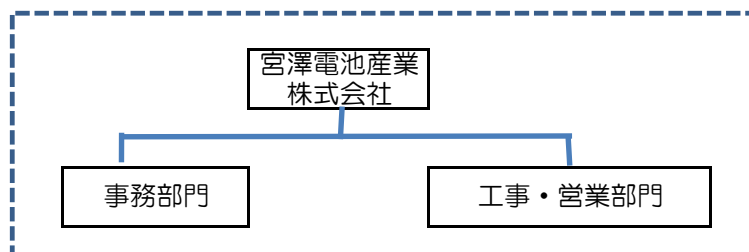
- 1) 事業者名 宮澤電池産業株式会社
- 2) 代表者氏名 宮澤 学
- 3) 所在地 本社： 静岡県静岡市葵区竜南一丁目10番28号
倉庫： 静岡県静岡市葵区竜南一丁目17番50号
- 4) 事業活動
 - 産業用蓄電池設備の販売、据付工事及び保守点検、補修工事
 - 自家用発電設備の販売、据付工事及び保守点検
- 5) 従業員数 19名
- 6) 環境管理責任者 宮澤 映子
連絡担当者 三浦 めぐみ
- 7) 連絡先 TEL (054) -247-1211
FAX (054) -247-1230
(E-mail: miyaden@oregano.ocn.ne.jp)
- 8) 建設業許可 静岡県知事許可 (般-28) 21241号
電気工事業 静岡県知事届出 第060020号
- 9) 事業の規模
- ① 設立(現在地) 1979年2月

② 事業規模

活動規模	単位	2013年	2014年	2015年	2016年
工事等の件数	件	433	472	436	402
売上高	百万円	389	453	467	415
従業員	人	17	17	19	19
事務所床面積	m ²	190.30	190.30	190.30	190.30
倉庫床面積	m ²	138.45	138.45	138.45	138.45

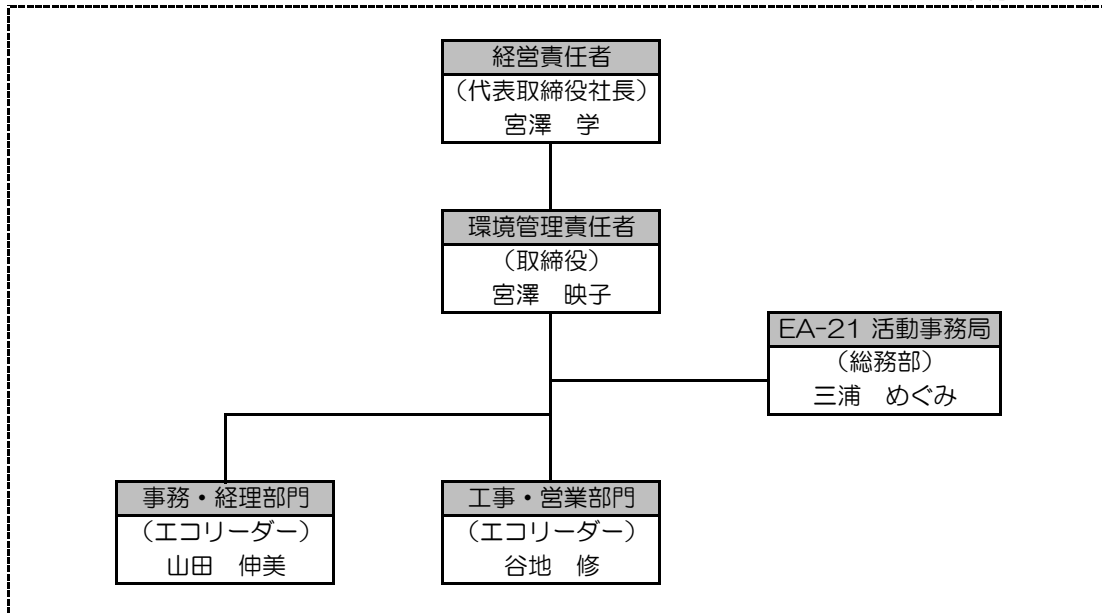
- 10) 事業年度 3月1日～翌年2月末日
- 11) 認証・登録の対象範囲

活動： 全事業活動
対象組織： 全社



2 実施体制

対象範囲：全社



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限を持つ。
- ② 環境方針を定め、すべての従業員に周知する。
- ③ 環境管理責任者を任命する。
- ④ 環境経営に必要な資源（人材、資金、技術情報）の準備をする。
- ⑤ システム全体の評価と見直しを実施する。

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進責任者として率先指揮する。
- ② 環境目標・環境活動計画の進捗管理を実施する。
- ③ 一般教育実施、法規制の最新版による遵守状況確認・評価を実施する。
- ④ システムの実績を代表者に報告する。
- ⑤ 環境活動レポートの作成を担当する。

EA-21 活動事務局

- ① 全体計画の立案をする。
- ② 環境関連文書や記録の作成・管理をする。
- ③ システム運用上の事務管理をする。
- ④ 環境管理責任者へ取組状況の報告をする。

各部門（エコリーダー）

- ① 環境目標・活動計画の実施をする。
- ② 月別部門データの集計をする。
- ③ 問題点の把握と是正の実施をする。
- ④ 取組状況の事務局への報告をする。

全従業員

- ① 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。
- ② 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。
- ③ 活動実績のデータ記録・報告をする。

3 環境方針

《企業理念》

宮澤電池産業株式会社は、
地球環境に適したクリーンなエネルギーである
蓄電池を中心とした非常用電源設備の供給を通じ、
環境問題への取り組みを社会的責務と認識し、
豊かな社会と環境の実現に貢献する企業を目指します。

《環境方針》

当社は、環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、
環境に配慮した活動を継続的に展開します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます。
 - ① 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減
 - ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動への取組
 - ③ 節水活動による水使用量の削減
2. 省エネ・省資源を考慮した製品の採用に努めます。
3. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境管理システムを継続的に改善致します。
4. 環境に関する法規制及び協定を遵守致します。
5. 全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底すると共に、環境問題への意識向上を図ります。

制定年月日

2014年8月1日

宮澤電池産業株式会社

代表取締役

宮澤 学 印

4 環境目標

短期・中期環境目標

環境目標は、2013年度を基準年とした基準年比とする。

	項目	単位	2013年度 基準年(実績)	2014年度 目標	2015年度 目標	2016年度 目標
二酸化炭素	二酸化炭素排出量	kg - CO ₂	53,882	-1%	-3%	-5%
				53,343	52,266	51,188
	購入電力	kWh	23,270	-1%	-3%	-5%
				23,037	22,572	22,107
	ガソリン	L	8,530	-1%	-2%	-3%
				8,445	8,359	8,274
軽油	L	8,364	-1%	-2%	-3%	
			8,280	8,197	8,113	
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	1.32	-1%	-3%	-1%
				1.31	1.28	2.02
産業廃棄物排出量	t	26.43		-1%	-2%	-3%
				26.17	25.90	25.64
水道使用量	m ³	183		-1%	-3%	-5%
				181	178	174
事務用品等のグリーン購入	件	-	現状把握	現状把握	160件	
機材のリユース品導入	件	-		現状把握	5件	

* 購入電力二酸化炭素排出係数 中部電力（2012年度）の「0.516kg-CO₂/kWh」

* 一般廃棄物は、初めて通年で計測した2015年度の値を基準として、2016年度の目標を再設定した。

* ガソリン、軽油、産業廃棄物は現場の距離や工事件数等によっても左右され、自社の努力だけでは削減が難しいため、目標値を3年で3%減に変更した。

* 事務用品等のグリーン購入は2013年度の過去実績がないため、2014年度後期から2015年度に現状把握を行い、2016年度から数値目標を設定する。

* 機材のリユース品導入は2013年度の過去実績がないため、2015年度に現状把握を行い、2016年度から数値目標を設定する。

5 環境活動計画と評価及び次年度の取り組み内容

※新規取り組み

目的	区分	活動項目	評価		今後の取組
			評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	購入電力	① 空調温度設定（夏28℃・冬20℃）	△	冬23℃位。設定温度を再検討	継続実施
		② 不要照明の消灯	○	実施	継続実施
		③ 空調フィルターの定期清掃	○	社内清掃時（3ヶ月に一度）	継続実施
		④ 使用していない部屋の空調停止	○	実施	継続実施
		⑤ OA機器の省電力設定、電源管理	○	実施	継続実施
		⑥ ファンの使用による空調の効率化	○	実施	継続実施
	ガソリン・軽油	① 省エネ運転の徹底	○	ステッカー表示済	継続実施
		② 車両の点検整備	○	実施	継続実施
		③ 近距離(市内等)の移動における電気自動車の積極活用	○	実施	継続実施
		④ 更新時に低燃費車の導入	—	該当無し	継続実施
廃棄物のリサイクル	事務所	① コピー用紙の両面使用	○	実施	継続実施
		② 封筒等の再利用	○	実施	継続実施
		③ コピー・印刷ミスによる廃棄量の削減	○	プリンター出力時に確認機能使用	継続実施
		④ 文書の電子化による印刷物の削減	×	紙ファイル主流の為、削減の検討中	継続実施
		⑤ OA機器等の修理による長期使用	○	実施	継続実施
	産業廃棄物 一般廃棄物	① 廃棄物の分別とリサイクルの促進	○	実施	継続実施
		② マニフェストによる廃棄物の適正処理	○	電子マニフェストの検討	継続実施
節水	上水	① 節水表示	○	実施	継続実施
		② 洗車時の節水	○	実施	継続実施
		③ 水漏れ点検の実施	△	点検頻度を再検討	継続実施
グリーン購入	事務用品他	① グリーン購入の実績把握	○	実施	継続実施
		② グリーン商品の優先購入	○	実施	継続実施
環境に配慮した自社の取り組み	機材	① 機材のリユース品導入	—	該当無し	継続実施
		② 太陽光発電営業活動 [※]	○	実績把握	継続実施

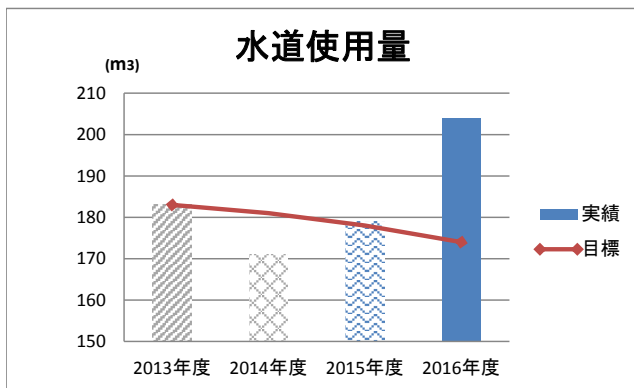
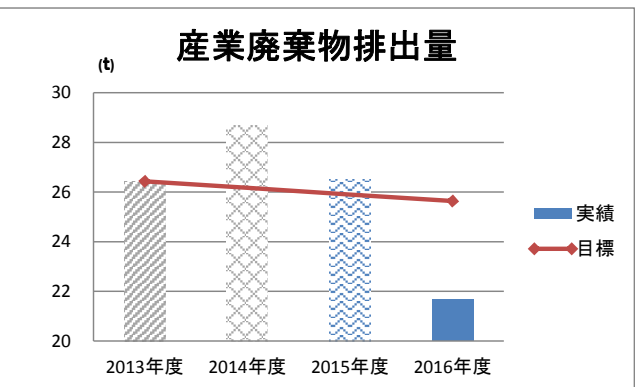
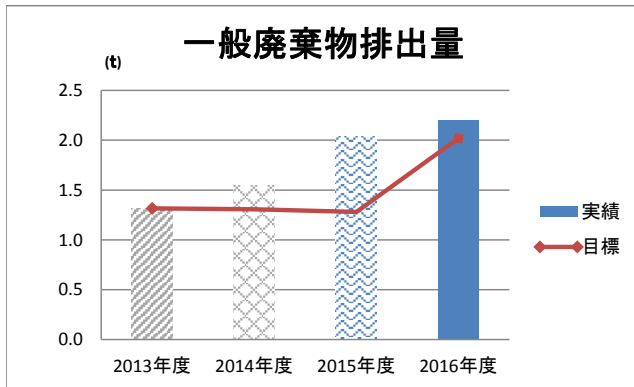
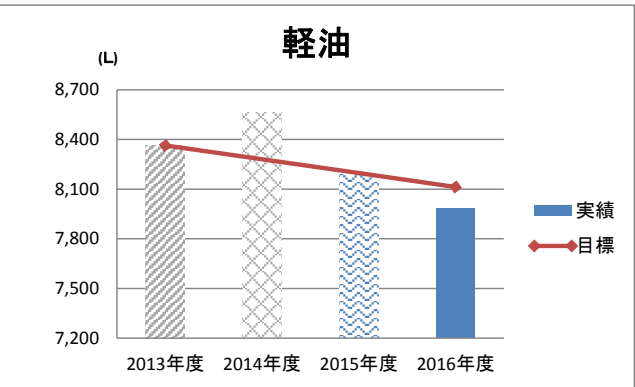
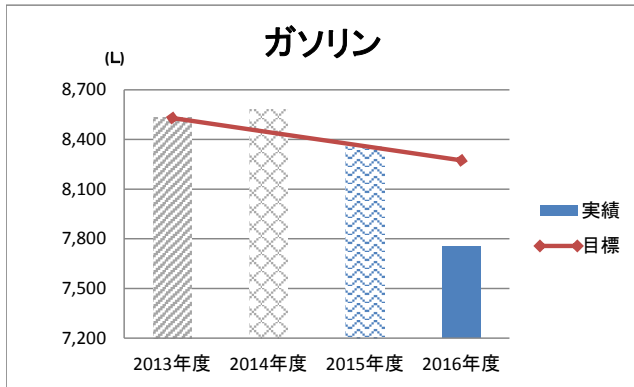
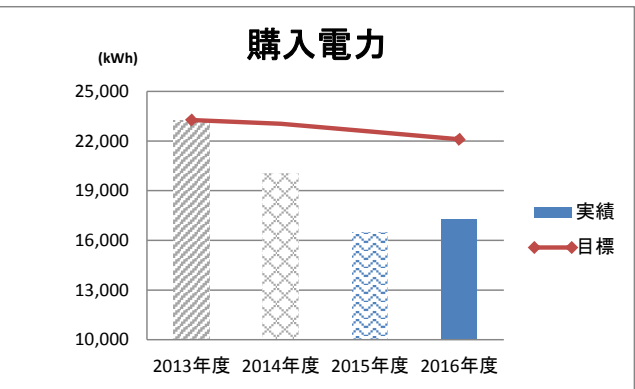
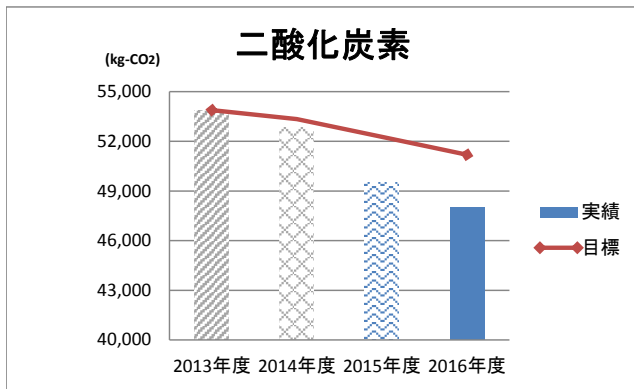
6 環境目標の実績

実績（2016年3月～2017年2月）

	項目	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2016年度	評価
			基準年(実績)	実績	実績	目標	実績	
二酸化炭素	事業所での二酸化炭素削減	kg - CO ₂	53,882	52,848 -1.9%	49,497 -8.1%	51,188 -5.0%	47,992 -10.9%	○
	購入電力	kWh	23,270	20,032 -13.9%	16,464 -29.2%	22,107 -5.0%	17,290 -25.7%	○
	ガソリン	L	8,530	8,580 0.6%	8,357 -2.0%	8,274 -3.0%	7,754 -9.1%	○
	軽油	L	8,364	8,561 2.4%	8,187 -2.1%	8,113 -3.0%	7,984 -4.5%	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	t	1.32	1.55 17.5%	2.04 54.9%	2.020 -1.0%	2.20 7.7%	×
	再資源化率	%	62%	81%	76%	—	78%	—
	産業廃棄物の削減	t	26.43	28.67 8.5%	26.50 0.3%	25.64 -3.0%	21.66 -18.1%	○
	再資源化率	%	66%	49%	44%	—	39%	—
水道使用量の削減	m ³	183	171 -6.6%	179 -2.2%	174 -5.0%	204 11.5%	×	
事務用品のグリーン購入件数向上	件		73件 (半期)	149件	160件	140件	×	
機材のリユース品導入	件			4件	5件	0件	×	

＜原因分析・是正処置＞

- 「一般廃棄物」の増加は、2016年2-3月の売上げ増加に伴う廃棄物（主にダンボール）処理を2016年3月にまとめて行ったことによる。「一般廃棄物」「産業廃棄物」は再資源化率でも管理していく。
- 「水道使用量」の増加要因はトイレの水漏れが原因と思われる。修理後は前年度と使用量に大きな差異はない。今後は水漏れ点検の頻度を増やす。
- 「グリーン購入」の購入件数は前年度より減少したが、今後は件数だけでなく比率も管理していく。
- 「機材のリユース品」の導入は今年度は実績がなかった。項目自体を再検討する。



7 当社の取組み

◆経営資源の投入◆

LED照明への切り替え



◆ゴミ分別◆

雑紙も古紙へ



書類ごみではなく古紙回収へ



◆社員の意識づけ◆

エコ運転目標



8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

2017/5/22 確認者 宮澤 映子

法規・条例・規制	適用内容	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との委託契約・許可確認	契約の締結、許可証の確認	○
	マニフェストの発行と管理	発行と90日以内または180日以内の返却確認	○
	マニフェストの保管	A、B 2、D、E票の保管5年間	○
	マニフェストの年間集計と報告	6月30日までに前年度分を提出	○
	産業廃棄物保管場所の表示	60×60cm以上の表示版	○
	特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	産業用電池	○
静岡県 産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	2016/6/9実施
静岡市 廃棄物の処理及び減量に関する条例	一般廃棄物の処理	廃棄物の適正処理、減量、分別	○
消防法 静岡市火災予防条例	少量危険物の取扱い	消防署への届出	2016/7/15届出
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	該当無し
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン 他	該当無し
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	該当無し
グリーン購入法	環境物品の優先的購入		○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟等は過去3年間ありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直し結果

作成 平成29年5月30日

1・見直し関連情報	項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成。
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物、水道使用量、グリーン購入は未達成(目標の再検討が必要)。
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね実施できており、今後も継続して取り組む予定。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 対応済み。
	5	その他()	<input type="checkbox"/>
	6		

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>項目的には多少増加したのものもあるが、全体として順調に環境目標を達成していると考える。</p> <p>これは、エコアクションを導入し4年目となり、エコに対しての意識も定着し、かつ実践されていることが要因と考える。</p> <p>細かくみていくと、現状、二酸化炭素の削減が取り組みやすく、また効果も出やすいため、結果が出ているが、逆に一般廃棄物については、作業量の影響を受け、目標達成ができなかった。</p> <p>今後のエコアクションへの取り組み方として、直接的に何かを削減することに加え、再資源化やグリーン購入など間接的なエコへの貢献も重要である。</p>		
	2017年5月30日		宮澤電池産業株式会社
			代表取締役社長 宮澤 学
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境目標	<input checked="" type="radio"/> 有・無	未達成になった項目について原因を分析し、目標を再設定すること。
	3 環境活動計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	計画自体に変更はないが、達成不十分な項目は随時チェックを実施する。
4 環境に関する組織	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
5 その他	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		